

話題を提供してください！

伊奈庁舎政策秘書課 ☎ 58-2111 (内線1202~1203)

※紙面の都合上、投稿いただいた情報が必ずしも掲載できるとは限りませんので、ご了承ください。



ちぎり絵を作る参加者と子どもたち

ひとり暮らしの高齢者と児童たちとの「あつたか交流会」が3月8日、谷井田小学校(直井修三校長)で開催されました。市内の75歳以上の高齢者62人と谷井田小の3年生53人が、楽しいひとときを過ごしました。交流会では、児童たちがおじいちゃん・おばあちゃんに肩たたきや肩もみをしたり、一緒にちぎり絵を作成しました。また、児童たちからメッセージカードや歌がプレゼントされ、笑顔の絶えない交流会となりました。参加した高齢者の方は「子どもたちとの絵づくりはとても楽しかった。心が躍る気分を久しぶりに味わった」と話してくれました。

人と人とのふれあいを大切に

谷井田小であったか交流会

わたしたちができること



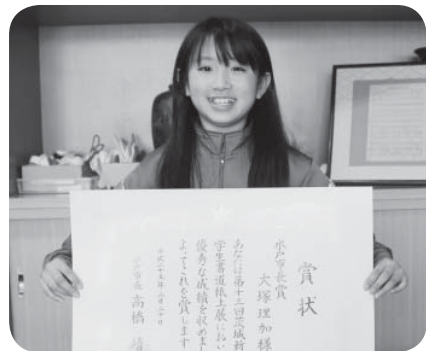
心を込めて手作りする子どもたち

東日本大震災から2年が経過する中、谷井田小の4年生は、

第13回茨城新聞学生書道紙上演において、大塚理加さん(6年)が、応募総数10438点の中から、見事、特別賞(水戸市長賞)を受賞されました。大塚さんの作品は「紙面いっぱい」のびのび書いている。気持ちが安定して、しかも自信に溢れていると評価されました。大塚さんは「まさかこんな賞をもらえると思っていなかったのだととてもうれしい」と話してく

小絹小の大塚さん 茨城新聞学生書道紙上演で特別賞

れました。



特別賞を受賞した大塚さん

これまで災害ボランティア活動に従事している方から、数回にわたりボランティア活動の意義や現地の状況を聞いてきました。そこで、みんなで話し合い、自分たちができることをしよう

東小「輝く郷土の先人」 新聞等コンクールで優秀賞

茨城県主催の「輝く郷土の先人」新聞等コンクールにおいて、東小の5年生(当時4年生)の作品が、5042点の応募の中から、見事、優秀賞を受賞されました。

と、被災地の小学生のために「かると」紙芝居を手作りしました。心を込めて手作りの「かるた」「紙芝居」は、いわき市立永崎小学校に届けられ、ふれあいの第一歩となりました。

作品は、「東の昔新聞」と題し、東地区(城中)生まれで、自分の財を投げ打って、道路の整備

工事や橋づくり、治水、耕地整理に取り組んだ、関口惣重郎について調べました。児童からは「こんな賞をもらえると思っていなかったのだけれい」「色々難しい言葉があったけれど、みんなで頑張ったのでよかった」「地域の方々協力してくれてうれしかった」などと話してくれました。



▷優秀賞を受賞した東小5年生の皆さん